

小谷一彦（お魚かたりべ）

○現在実施している又は今後実施予定の取組

1. 『水産庁・お魚かたりべ』として、魚食文化の普及・伝承に取り組んでいます。
2. 水産に関わる事業者様に向けて、マーケット、消費者心理からみた商品開発、既存商品の磨き込みなど、目的達成のためのサポートを行っています。
3. 地球温暖化、少子高齢化のなか、変化する魚食マーケットについて、メディア、学校等の依頼を受け解説、提案を実施。未利用魚、低利用魚に向けての付加価値創出に向けての取り組みを行っています。

低利用魚の活用。大きいがため、価値が低くみられる大しらす。

食品スーパーでは、見かけない、買えない⇒逆説的に考え⇒希少性、**価値創出**。

SDGs

漁獲資源の有効利用⇒規格外、未利用魚、低利用魚の水産物の活用⇒利用が始まれば利用魚。



上段:中小筋(中小サイズ)
下段:太筋

～しらすの規格(産地での呼称例)～

- 1、細かめ
- 2、中筋
- 3、太筋

～太筋のポジショニング～

- 1、産地浜相場は、色、さや(サイズ)、異物の混入状況、漁獲量、需要供給バランスで形成される。
- 2、消費者好みのサイズは、中筋～細かめ。
- 3、太筋は、サイズが大きいただけで評価が低い。



太筋:中心で3cm前後